

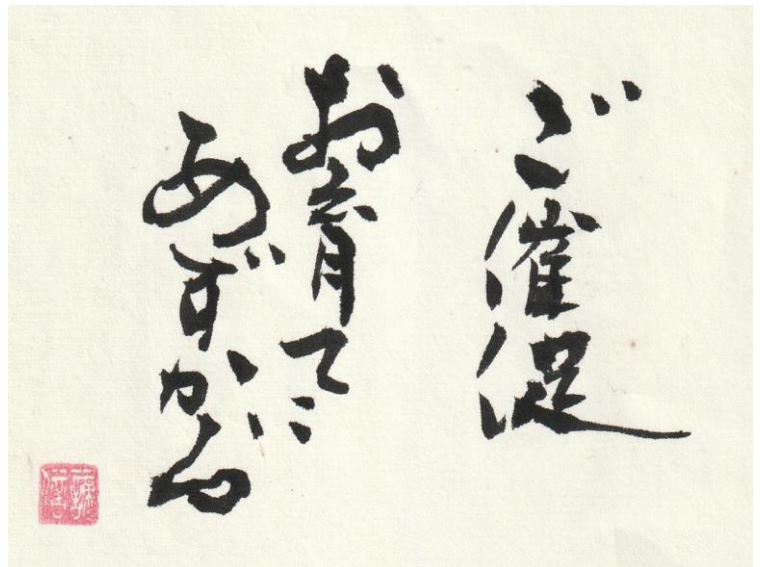


NO.211

2023年(仏歴2554年) 1月 1日



仏さまの悟りを表わす蓮の花。存明寺門前。2022年夏。



浄土真宗のご門徒の中には独特の言葉が伝わっている。それを「門徒ことば」という。

たとえば「ご催促」。思いがけずに病気に見舞われた時、これも如来さまからの「ご催促」、つまり病気も如来さまからの大切なことに目覚めよという促しなのだ、と受け止めてきた。

またたとえば、「お育てにあずかる」。思い通りにならない辛い出来事に遭遇した時、そのことを大切に経験しながら、そのことから自分が育てられる、と受け止めてきた。

さて、新しい年がやってきた。今年も一年色々なことが起こることだろう。良いことも、あまり良くないことも。

しかし、たとえどのようなことが起こったとしても、それらの出来事が、私を促し、私を育ててくれることがあることを、先の言葉は教えてくれている。

そのようなしなやかな生き方を我が生き方として、今年も一年歩んでいきたい。

(住職)

↓インスタは左下 存明寺 HP ↓

<https://zonmyoji.jp>

存明寺HP Instagram 更新中!

お寺の樹心の会や諸行事、掲示板の言葉や花手水、法話動画などなど、定期的に更新中。ぜひご覧ください。



ZONMYOJI_SAKAI



親鸞 ゆさぶる言葉

さるべき業縁
もよおせば
いかなるまゝ
すべし

『歎異抄』より

その日、母は朝6時に起きてきた。「体調が悪い」と言った。体調が悪いのはいつものこと、とりあえず椅子に座ってもらい、私は朝の雑事をしていた。1時間後、突然のいびき。あわてて救急車を呼び、緊急手術をした。しかし、時すでに遅く、脳梗塞により母は言葉や意識を失い、寝たきりとなってしまった。それから10カ月後、母は息を引き取っていった。

私は自分を責めた。なぜもっと早く母の異変に気づかなかったのか。母がこうなったのは自分のせいだ。寝たきりの母の前に、そのような思いが湧いてきた。

しかし、湧いてきた思いはそれだけではなかった。母は認知症を患っていた。病院の送り迎え、食材の買い出しなどは私の役目。お寺の中を徘徊したり、物をなくしたり。そんな生活から、突然解放された。どこかホッと安堵してしまう自分がいた。どうしようもなく、いた。

さるべき業縁ごうえんのもよおせば、いかなるふるまいもすべし

母は何も語らなかった。しかし10カ月の間、母は私の中にあるどす黒いものを抉り出して見せてくれた。「縁さえ熟せば、あなたの中にはいろいろな心が湧いてくるんだよ。そのことを抱えながら、仏さまの教えを聞いていくんだよ」

母去りて3年。そのような無言の遺言は、今も響き続
けている。



書し文し酒井義一 ● さかいよしかず
1959年東京生まれ。真宗大谷派存明寺住職。

月間『同朋』（東本願寺出版）に連載中の住職のコラム12月号より転載

住職日記

慶讃法要に参詣しませんか？

▼いよいよ2023年3月・4月、ご本山である京都・東本願寺にて、親鸞聖人のご誕生850年・立教開宗800年の「慶讃(きやうさん)法要」が行われます。存明寺が所属する東京五組でも団体参拝を計画していますが、コロナの影響もあり、現在存明寺からは十一名の参加者にとどまっています。過去の団体参拝に比べると、とても少ない現状です。この一月末日が最終締め切りとなります。親鸞聖人に出会う京都への旅、ぜひ一緒にいかがでしょうか？詳細はこのページの左下をご覧ください。



存明寺でも慶讃法要が

▼さて昨年十一月の存明寺の報恩講の時に酒井義一存明寺住職が、ここ存明寺での慶讃(きやうさん)法要の基本計画をお伝えさせ

ていただきました。その主な内容は、「やります、慶讃法要、ここ存明寺で。」ということでした。

▼2022年の年末にオンラインにて「存明寺総代会」を開催し、存明寺慶讃法要について初めての話し合いを行いました。その席で、仮にですが、2025年11月2日か3日の報恩講法要の時に「存明寺慶讃法要」を行なうという目標を立ててみました。もちろんコロナの感染状況によっては更に先へと延期する可能性もありますので、これはとりあえずの、仮の目標です。そうでもしないと、なかなか動き出せないコロナの現状があるからです。仮ながら目標を定めて、そろそろ動き出そうと考えています。

▼現時点での計画は白紙ですが、おおむねこのようなことを考えています。2023年を準備年とし、長く開催を見合わせていた総代世話人会を再組織・開催し、慶讃法要に向けての基本的な計画や日程などの話し合いの場を持ちたいと思います。そして2024年と2025年の二年間をそのお待ち受け期間として、通常とは違った行事を企画運営していったらどうか

と思っっています。例えば、連続法話会やお待ち受け法要の実施・真宗本廟奉仕団などの活動案です。そしてその集大成として2025年11月に慶讃法要をお勤めするというプランです。もちろん、まだ熟考してはいないプランですが、これから多くの皆さまのお力をお借りして、アイデアを出し合いながら、ひとつの形にしていきたいと考えています。皆さま、どうぞご承知おきの上、ご協力くださいますよう、よろしくお願い申し上げます。



ところで慶讃法要とは

▼ところで慶讃法要とは、どのような法要なのでしょう。それは人として誕生した親鸞聖人が、様々な苦悩を抱き、その苦悩が大きなきっかけとなって、浄土真宗という教えと出遇ったということの意味する法要です。短く言えば「人と生まれて、教えに出遇う」法要です。それは親鸞聖人が、ということでもありますが、同時に、

今を生きる私が、ということでもあります。つまり、人間として生まれ今を生きるこの私が、苦しみや悲しみを仏縁として、浄土真宗という教えに出遇うための法要ということなんです。今を生きるこの私が、人と生まれて教えに出遇う、そのための法要が、「慶讃法要」なのです。(住職)

最終のご案内 申込受付中

親鸞と出遇う旅 1月末締切り

慶讃法要へ

宗祖親鸞聖人御誕生八百五十年
立教開宗八百年慶讃法要

日時 2023年(令和5年)

4月21日(金)〜22日(土)

日程 ①東京〜大阪・難波別院

法話〜夕食〜ホテル泊

②大阪〜京都・東本願寺

法要参拝〜現地解散

宿泊 大阪エクセルホテル東急

費用 40,000円

※帰りの交通費は含みません

※現在の参加者は11名。

※申込み締切りは1月末まで。

お寺のひろば 2023年(令和5年)

2023年 来年的お寺のひろば

1月1日(日)	10時	修正会
3月11日(土)	14時	樹心の会
3月17日(金)	13時	おそうじの日
3月21日(火)	11時と13時	春のお彼岸法要
3月25日(土)	14時	グリーンフケアのつどい
4月15日(土)	14時	樹心の会
4月28日(金)	10時	おみがきのつどい
5月3日(水)	10時	永代経法要
5月13日(土)	14時	樹心の会
6月10日(土)	14時	樹心の会
6月24日(土)	14時	グリーンフケアのつどい
7月8日(土)	11時	新盆法要
7月13日(木)	11時と13時	お盆法要
8月26日(土)	午後	青年のつどい
9月9日(土)	14時	樹心の会
9月15日(金)	13時	おそうじの日
9月23日(土)	11時と13時	秋のお彼岸法要
9月30日(土)	14時	グリーンフケアのつどい
10月14日(土)	14時	樹心の会
10月25日(水)	10時	おみがきのつどい
11月2日(木)	14時	報恩講のゆうべ
3日(金)	10時	報恩講法要
11月11日(土)	14時	樹心の会
12月2日(土)	10時半	帰敬式
12月9日(土)	14時	樹心の会
12月16日(土)	14時	グリーンフケアのつどい

「い」も食堂・子育てサロン・「い」も会・聖典
輪読会も、感染対策をしながら開催中です。

3年一度 帰敬式を行います

帰敬式を受けて法名を頂きましょう。

日時 2023年12月2日(土)

場所 真宗大谷派 存明寺

費用 30,000円

日程 10時半 集合 11時帰敬式
12時 会食 13時解散 (案)

※住職と相談しながら法名を決めます。

※春のお彼岸時に案内文を配布します。

※お申し込みは春のお彼岸からです。



↑親鸞聖人につどい報恩講法要。多くの方々のご参詣がありました。



↑12月の樹心の会(同朋会)。全体座談会を行いました。

【あとがき】

▼浄土真宗では、大きな法要が三つあります。親鸞と蓮如の50年ごとの御遠忌法要と、親鸞の慶讃法要です。1998年は、蓮如の500回御遠忌法要でした。2011は、親鸞の750回御遠忌法要でした。そして今年2023年は、親鸞誕生850年立教開宗800年の「慶讃(きやうさん)法要」です。▼ちなみの次の大きな法要は2048年の蓮如550回御遠忌法要となります。25年後、私は89歳になつていきます。多分ですが、もうこの世にはいないでしょう。▼だとすると、慶讃法要は私の生涯で最後の大きな法要ということになります。この法要を、曲がりなりにも浄土真宗の僧侶として生きてきた者が、今まで学んできたこと、浄土真宗の世界を表現する時としたいと思えます。まだ全く白紙ですが…。▼存明寺での慶讃法要を視野に入れながら、今年もボチボチと歩んでいきたいと思っています。皆さま、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

義

東京都世田谷区北烏山4-15-1

真宗大谷派 存明寺

住職 酒井義一(釋諦信)

TEL 03-3300-5057

FAX 03-3300-5880